



研修会等報告(復命)書

三次市議会議長 様

会派 真正会  
氏名 横光春市



下記のとおり、研修が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視察議員	真正会 横光春市			
期 間	平成29年8月8日(火)			
研 修 先	東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビル TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター			
研 修 内 容	10:00~12:30 私がうなった質問はこれだ			
講 師	自治体経営コンサルタント 川本達志氏			

【目的・課題】

議員活動を行う上で、一般質問は「市民の声を行政に伝え、変えていく」「自分の考える政策実現」ために大切な活動であり、公の議論を交わす場でもある。質問力を高め執行部が動きたい気持ちにさせるために、質問力を向上させるために受講する。

【研修内容】

① 質問の3タイプ

①自己主張型

政治的課題について自らの立場と意見を表明することを目的とする。

議事録または議員広報に乗せることが重要

②課題・責任追及型

政治的加害について追及し、政治的イニシアチブを握ることを目的とする。

③政策提案型

住民ニーズのある課題について、解決のための施策・事業を提案し、執行部に予算化・条例化させることを目的とする。

② 政策提案型質問の構造……役所内のマネジメントサイクルに乗せるために……

- ・まず、現状認識を執行部と共有する。そして、課題認識で共感を抱かせること。
- 次に、仮説を立て、検証し、提案することによって、理解を求めることが必要。
- そして、期待される成果が得られるよう行動を起こすことが大切である。

- ・ 質問を通じて執行部と一緒に政策・施策を作っていくイメージで質問を！  
「注意」・・・認知・・・して「関心・欲求・記憶」という感情を呼び起こし、「行動」に移せるよう！

### ③ 現状認識

- ・ 現状認識の正確さは不可欠
  - ・ 自分で確認すること(ヒアリング、取材の生データは効果的)
  - ・ 正確さを担保するためには、数字をつける。・・・金額、人数、割合 など・・・  
(出処を明確にする。省庁発表の数字・市の統計数値等) RESAS e-Stat
  - ・ さらに、物語(ストーリー)があること。住民の視点に立った物語であること。
  - ・ 調べればわかることを、数字を議場で問うのは無駄である。ただし、TV放映の場合は・・・
  - ・ ※ 議員が知る課題、データは、おおむね執行部は認識していると考えてよい。  
その認識を具体的な現実として改めて示すこと。
  - ・ 執行部が知らないデータ、情報は正確さを担保することが重要
  - ・ 課題認識として、テーマは続けることが大切である。同じ質問をしても、事情の変更がない限り執行部の答弁は同じで、過去の答弁に縛られる。同じ質問をする場合は、事情の変更(量的・質的变化)があったかが必要  
(過去の議会答弁を調べておくことが必要・・・過去の議事録確認)
- ※ テーマは一貫して、深掘りしていく！

### 【所見】

今回の一般質問の組み立てを研修する中で、今までの一般質問のありようを反省する点が見いだされた。

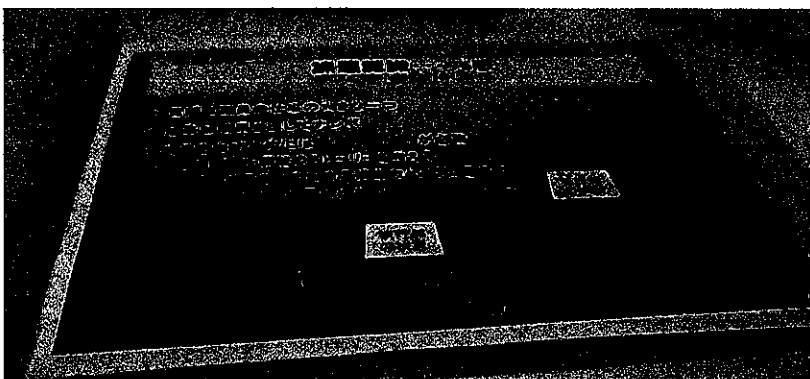
現状認識を共有し、課題認識で共感を得ることの必要を実感する。

そのうえで、質問を通じて執行部と一緒に政策を・施策を作っていくという思いを持つことが大切であるという講義は身に染みた。

現状認識の中で、正確さを求めるために、今後一層「住民との対話」「数値の出処」を明らかにして、一般質問に臨みたいと考える。



講義をする 川本達志講師



講義資料のページの一部

視 察 議 員	真正会 横光春市
期 間	平成29年8月8日(火)
研 修 先	東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビル TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
研 修 内 容	14:00～16:30 財政関連質問のポイント
講 師	自治体経営コンサルタント 川本達志氏

### 【目的・課題】

議員活動を行う上で、財政についてもっと詳しく研修を深め、行政運営で中での財政のありようについても研修を深めるとともに、今後、市財政が健全であり、より一層住民のための政策が展開されるよう、財政分野で効果的な質問を行いたいと考え受講するものである。

### 【研修内容】

#### ① 財政関連質問の視点

- ・ ①財政の健全化  
持続可能な財政状況にあるか？
- ・ ②施策の効果と改善  
事業の成果は上がっているか。改善すべきことはないか？
- ・ ③ 財務・財産管理・会計処理の適正化  
違法不当な収入や支出はないか？
- ・ 以上、3つの視点を持って質問する。

#### ② 財政関連質問のタイミング

- ・ 財政関連の質問には、6月議会には6月議会にふさわしい質問というように・・・定例議会の時期に行うべきタイミングがある。
- ・ 中長期的な財政推計を毎年議会に提出するようにする。その中から質問が生まれる。

#### ③ 事業の成果指標を定め、評価し、予算査定に反映すべきと考えるが、具体的な仕組みをもっているか。

- ・ 予算(Plan)  
正しい現状認識と課題認識に基づいて、検証を経た解決策が提示された予算か。
- ・ 執行(Do)  
計画し予算に示され説明された事業が、そのとおりタイミングよく、効率的に執行されているか。
- ・ 評価(Check)  
政策評価・事務評価が適正に行われ、公表されているか？  
「〇〇を行い、〇〇円予算執行した」では事業概要であって、成果ではない。  
計画に沿った、成果を求めなくてはならない。
- ・ 改善(Actyon)  
評価の結果を踏まえて、改善の検討がなされ、効果的な解決策の策定に反映されているか。

※ 予算が問題ではない。予算に対して、執行された予算(決算)の成果が大切である。

※ 議員が審査しやすい環境を作っていく必要があり、その資料を執行部へ求めることが必要

④ 税の徴収率のアップを問う

・ 県内の市町村の中で税の徴収率順位を確認・・・トップランナー方式に対応できているか。

ア) 徴収率アップの具体的方策は？

イ) 現年分の徴収の重点方策は？・・・具体的な方策は？

ウ) 不能欠損処分の計画的適用は？

⑤ 義務的経費(人件費・扶助費・公債費)の歳出予測を問うことも必要。

⑥ 類似団体との比較を行い、市の状況分析を行い、質問とすることもできる。

【所見】

・ 予算の編成と執行状況には重きを置いて議員活動を行っていたが、一つ一つの事業の成果を求め、その成果が有効か？あるいは無駄な予算執行になっていないか検証することが必要と感じた。

また、9月議会で執行部から提出される決算認定における審査の過程では、執行部に新たな資料を求めることが必要と感じた。

午後から配布された  
講義資料 ⇒



講義をする 川本達志講師